



やる気いっぱい 笑顔いっぱい 夢いっぱいの学校

朝霞第三小だより

平成29年度 No. 3

朝霞市立朝霞第三小学校

TEL 048-471-1630

E-mail 3shou@asaka-c.ed.jp

平成29年4月28日発行



あたり前のことがあたり前にできる子に

校長 恵守 孝二

校庭の木々に新緑の青葉が繁れるさわやかな季節となりました。子どもたちは、新しい担任や友達にも慣れ、元気いっぱいに学校生活を過ごしています。

さて、過日の授業参観懇談会には、ご多用中にもかかわらず、多数の保護者の方にご参加いただきありがとうございます。PTAの活動等で、これからも何かとご協力をいただくことがあると思いますが、よろしく願いいたします。

「しつけ三原則」

(森 信三)



asaka-344853

- 1 朝のあいさつをする
- 2 「はい」とはっきり返事をする
- 3 席を立ったら椅子を入れ、はきものを脱いだら必ずそろえる

教育者の森信三氏は、子どもには、上の3つのことをできるようにすることが最も大切であると述べています。本校でも年間重点目標や「三小の約束」に位置づけ、毎日指導しており、ある程度の成果は得られていると感じております。今後ともご家庭と同一歩調で取り組み、徹底を図ってまいりたいと考えています。

「はきものをそろえる」

はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう
ぬぐときにそろえておくと
はくときに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと 世界中の
人の心もそろうでしょう

学校では、昇降口の靴箱に入れる際に、しっかりそろえて入れさせることで、気持ちを落ち着かせ、安全な行動につなげています。

禅寺の玄関には*「脚下照顧」や「看脚下」と書かれていることがあります。

***理屈を言う前に、まず自分の足元をよく見て、自分のことをよく反省しなさいという意味**

これを長野県にある円福寺の住職だった藤本幸邦さんが子どもたちにわかりやすい言葉で書いたものが左の詩です。

みんなが、はきものをそろえると、他人を思いやる心が育ち、言葉が通じない世界中の人の心にまで広がると言うのです。

藤本氏は、「誰でもできることだけれど、やろうと思わないと誰もできない。できることをみんながやるのが大切だ。」とも言っています。

やる気が大切、やればできる!!